

校長だより

20号



呉市立両城小学校

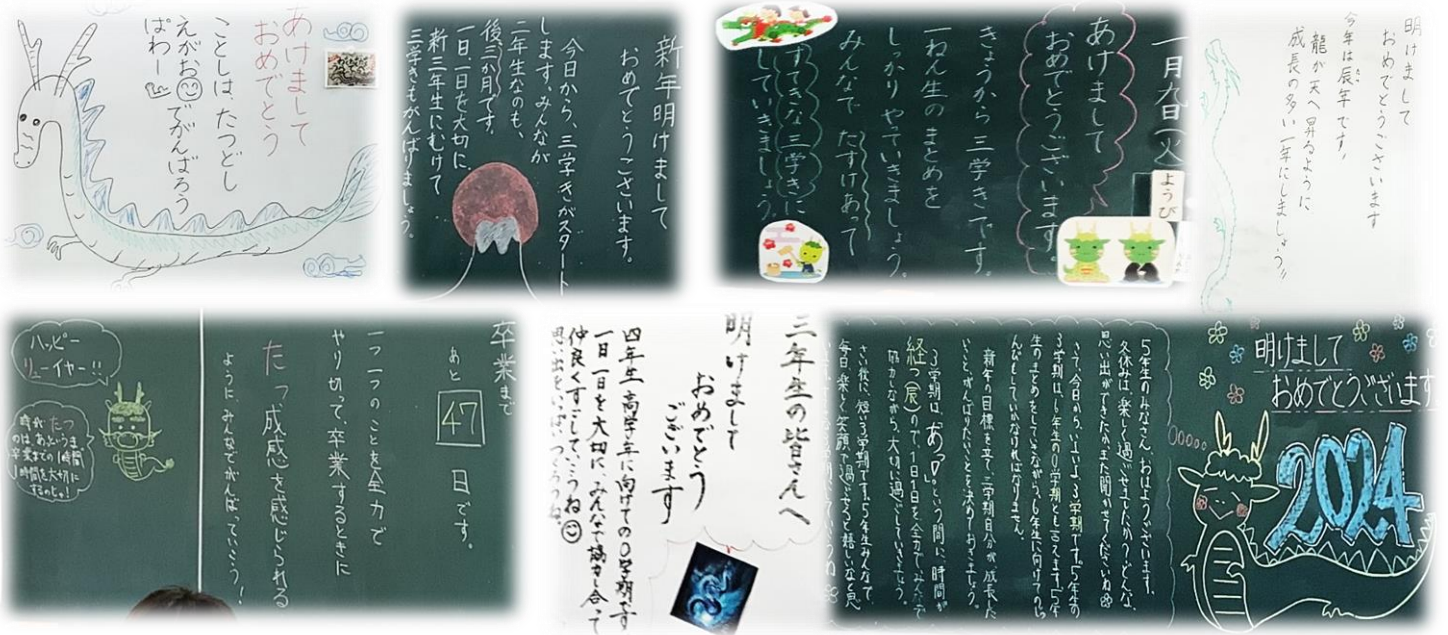
児童数125名

〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

令和6年1月17日(水)

文責 堀田 由美

3学期が始まって2週間近くたとうとしています。始業式の教室の黒板には、新しい年を迎えるの抱負や子供たちへの励ましの言葉が各担任の先生から添えられており、大変嬉しく思いました。子供たちも「今年は頑張るぞ」という思いをもったことでしょう。



第3回 集団下校

始業式の日には、今年度最後の集団下校を行いました。子供たちも慣れたもので、あっという間に集合し、放送から10分後には下校することができました。

集団下校の際には、横断歩道の渡り方、歩道の歩き方、こども110番の家等、その都度指導していますが、普段の下校時も交通ルールを守り、走ったり横一列に並んで歩いたり車道に飛び出たりしないよう声かけをしています。子供たちの下校で気になることがあれば、遠慮なく学校にお知らせください。



災害に備えて



このお正月には能登半島を中心に大きな地震が発生しました。たくさんの方が亡くなり、心よりご冥福をお祈りいたします。本当に地震はいつ起こるか分かりません。本校では、「自分が住む地域に起こりやすい災害について理解している」「災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している」児童100%を目指して防災教育に取り組んでいます。ご家庭でも「地震・津波」「大雨・土砂災害」等の災害のときの避難場所や避難の仕方、災害に備えての準備等について折りに触れ確認してもらえたらと思います。



昨年もお知らせしましたが、学習用具の持ち帰りについてお知らせします。

子供たちは毎日学習用具をランドセルに入れて持ってきています。現在では、タブレットも加わったり、上下に分かれていた教科書が1冊になった学年もあつたりで、持ち帰りの荷物も重くなっています。子供の負担軽減のために、本校では、原則下記のように「毎日持ち帰るもの」と「学校に置いておくもの」を決めています。これは原則なので、例えば図画工作等で用意するものがあるときは、教科書を持ち帰ったりします。

| | 原則、ランドセルに入れて毎日持ち帰るもの | 原則、学校に置いておくもの ※ 家庭で必要な際は持ち帰る |
|------|---|---|
| 1年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋(音読・計算カード等) 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・音楽・生活・図工・道徳) 書写ノート 音楽ファイル |
| 2年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・音楽・生活・図工・道徳) 書写ノート 音楽ファイル 音読の森 計算カード |
| 3年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・社会・理科・音楽・図工・道徳・保健・外国語活動)とノート・ファイル類 呉の社会科学習 |
| 4年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・社会・理科・音楽・図工・道徳・保健・外国語活動)とノート・ファイル類 地図帳 呉の社会科学習 |
| 5年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・社会・理科・音楽・図工・家庭科・保健・道徳・外国語)とノート・ファイル類 地図帳 社会科資料集 |
| 6年 | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・社会・理科・音楽・図工・家庭科・保健・道徳・外国語)とノート・ファイル類 地図帳 社会科資料集 |
| たんぽぽ | 筆箱 連絡帳または連絡ファイル タブレット(ケース) 連絡袋 | 全ての教科書・ファイル類 |
| ドリーム | 筆箱 連絡帳 タブレット(ケース) 連絡袋(音読カード・計算カード等) 国語・算数の教科書とノート 漢字・計算ドリルとドリル用ノート | 教科書(書写・社会・理科・生活・音楽・図工・家庭科・保健・道徳・外国語)とノート・ファイル類 地図帳 呉の社会科学習 社会科資料集等 |

習字道具や絵の具道具はその都度持って帰って持ってくるようにしています。けれども、教室を回っていると、習字道具や絵の具道具を忘れて、学習ができてにくい光景を目にすることがあります。**習字道具を使う日は金曜日です。毎週、金曜日までには必ず習字道具を持ってくるようご家庭でも声かけをお願いします。**特に習字道具は、筆の状況や半紙の有無等ご確認いただければ状況も分かります。「手は離しても、目は離さない」ことで、子供たちも学習に集中できるのではと思います。

なわとびチャレンジ

1月の生活目標は「外に出てしゃかりと体を動かそう」で、1月11日より全校での「なわとびチャレンジ」の取組がスタートしています。

「なわとびチャレンジ」とは、大休憩の間の5分間(曲を流しています。)全員が外に出てなわとびをする取組のことです。

ですから、大休憩には運動場いっぱい子供たちが広がり、なわ跳びをしています。なわ跳びは練習すればするほど上手になります。人と比べて苦手意識をもつのではなく、人の跳び方からコツを学び、練習することで、できる技を増やしたり跳べる回数を増やしたりしてほしいです。

